

ATEX

保証書付

保管用

製造番号

AX-B634EW

収納式電動リクライニングベッド (Wファンクション)

組立・取扱説明書



※本取扱説明書内のイラストは簡略化しており一部現品と異なる部分があります。
ご了承ください。

※デザイン・仕様等を一部変更している場合があります。ご了承ください。

この度は、**AX-B634EW** をお買い上げいただきありがとうございます。
組立、使用前にこの説明書をよくお読みください。
又、その後いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

 株式会社 **アテックス**

安全上の注意

.....2

1

各部の名称

.....4

2

部品一覧表

.....5

組立順序

.....6

3

安全ピンについての お願い

.....9

4

取扱方法

ベッドを広げるとき

ベッドを折りたたむとき

.....10

背部リクライニング方法

.....11

5

フットアップを解除する方法

.....12

移動

ストッパー付キャスター

お手入れ方法

.....13

6

保管と点検

故障かな?・仕様 14

保証と

アフターサービス 15

7

安全上の注意

必ずお読みください。

- 組立の前及び、ご使用前には、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになって、正しくお使いください。お読みになった後は、必ず大切に保管しておいてください。
- 本取扱説明書内に表示している注意事項は、ベッドを安全にお使いいただく上で、お客様や他の人々への危害や物的損害を、未然に防止するためのものです。内容により「警告」・「注意」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



警告

人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容。

■表示記号の意味



「警告」や「注意」を促す事項を表します。



「禁止」を表します。



「必ず守ってほしい行為」を表します。

■絵表示の例



分解禁止



電源プラグを抜く



指づめ注意

警告



分解禁止

- 本製品や手元コントローラーの分解・改造・修理は危険ですので絶対にしないでください。故障や修理は販売店にご相談ください。



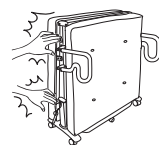
電源プラグを抜く

- リクライニング使用中、異臭（焦げ臭い）を感じたり、その他異常を感じたら、直ちに手元コントローラーの操作を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店などにご相談ください。
- リクライニング操作時以外は、必ず電源プラグを抜いておいてください。お子様などがさわって思わぬ事故が起きる恐れがあります。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端のプラグを持ってください。



指づめ注意

- 組立中やベッドの開閉時に、指などはさめよう十分注意ください。



- リクライニング操作時は、ヘッド及びフットフレームの上に体の一部を置かないでください。手や指をはさんでケガをする恐れがあります。



警告



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントがゆるいときは使用しないでください。感電、発火、ショートの原因になります。
- モーターや手元コントローラー、コードなどは破損した状態で使用しないでください。火災などの原因になります。
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。
- たこ足配線など定格を超える使い方や交流100V以外では使用しないでください。発熱、火災などの原因になります。



必ず守る

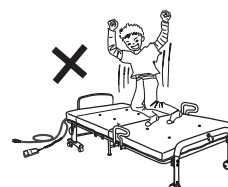
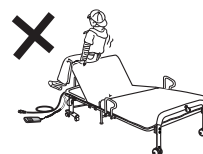
- 電源プラグ部のほこりは定期的に取り除いてください。火災、ショートの原因になります。
- リクライニング操作中以外は手元コントローラー部の電源スイッチを切ってください。
- リクライニング操作は必ず大人の方がおこなってください。思わぬ事故の原因になります。
- リクライニング時は周囲に十分注意してください。特にお子様に手元コントローラーを絶対触らせないようにしてください。誤作動など思わぬ事故になります。
- 収納時、ベッドが倒れないように十分注意してください。破損や思わぬ事故の原因となります。

注意

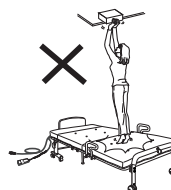


禁止

- 背部リクライニングマットをリクライニングさせた状態で足端部に腰掛けたり乗ったりしないでください。又、足部フットアップ中無理に力を加えないでください。破損や事故の原因になります。
- ベッドの頭側の端や脚側の端に腰をかけたり、乗ったりしないでください。構造上ベッドの中央部が持ち上がり、転倒の恐れがあります。
- ベッドの上で飛び跳ねたりしないでください。特にお子様などがトランポリン遊び等をしないようにしてください。破損や思わぬ事故の原因になります。



- ベッドを踏み台にしたり、重い物を乗せないでください。破損や思わぬ事故の原因になります。



- 手元コントローラーのボタンを2カ所同時に押さないでください。破損や事故の原因になります。
- 機械油など油性分や化学薬品などの成分が浮遊している場所では使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用ベッドです。業務用及び本来の目的以外では使用しないでください。
- ストーブ又は可燃性の物や火気の近くでは、使用しないでください。変形や故障の原因になります。
- 小さいお子様をベッドの近くで遊ばせないでください。思わぬ事故の原因となります。
- モーターや手元コントローラーに、ジュースなどの液体をこぼさないでください。故障や事故の原因になります。



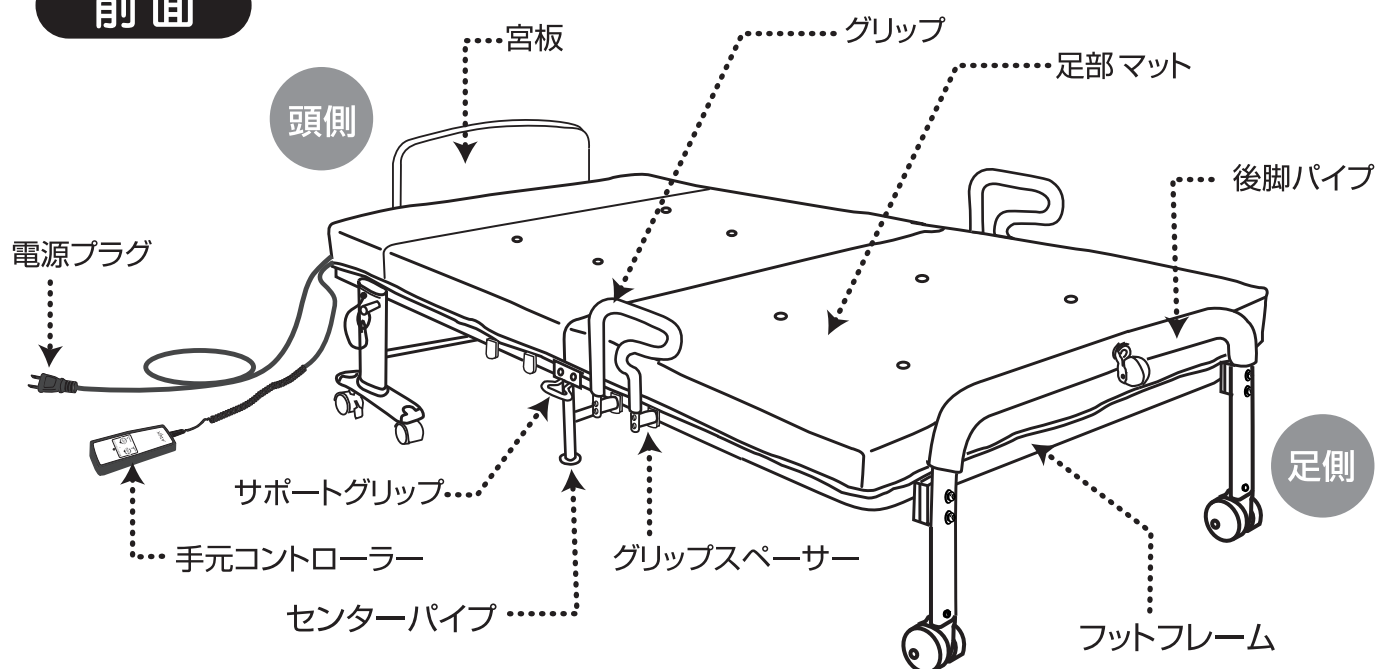
必ず守る

- 折りたたみやリクライニング、移動は必ず大人の方がおこなってください。思わぬ事故の原因になります。
- 本製品の設置は壁や家具などから十分な距離をとってください。壁や家具を傷つける恐れがあります。
- 各部のネジ類は、定期的(3ヶ月毎)に点検し、ゆるみがあれば締めなおしてください。
- ベッドは突起物のない、平らな場所で使用してください。思わぬ事故の原因になります。
- ベッドの設置はフローリング(木製床)等にキズが付かないようにラグなどを敷いてご使用ください。
- 本製品はシングルベッドです。お一人でご使用ください。又、体重が90kg以上の方は使用しないでください。

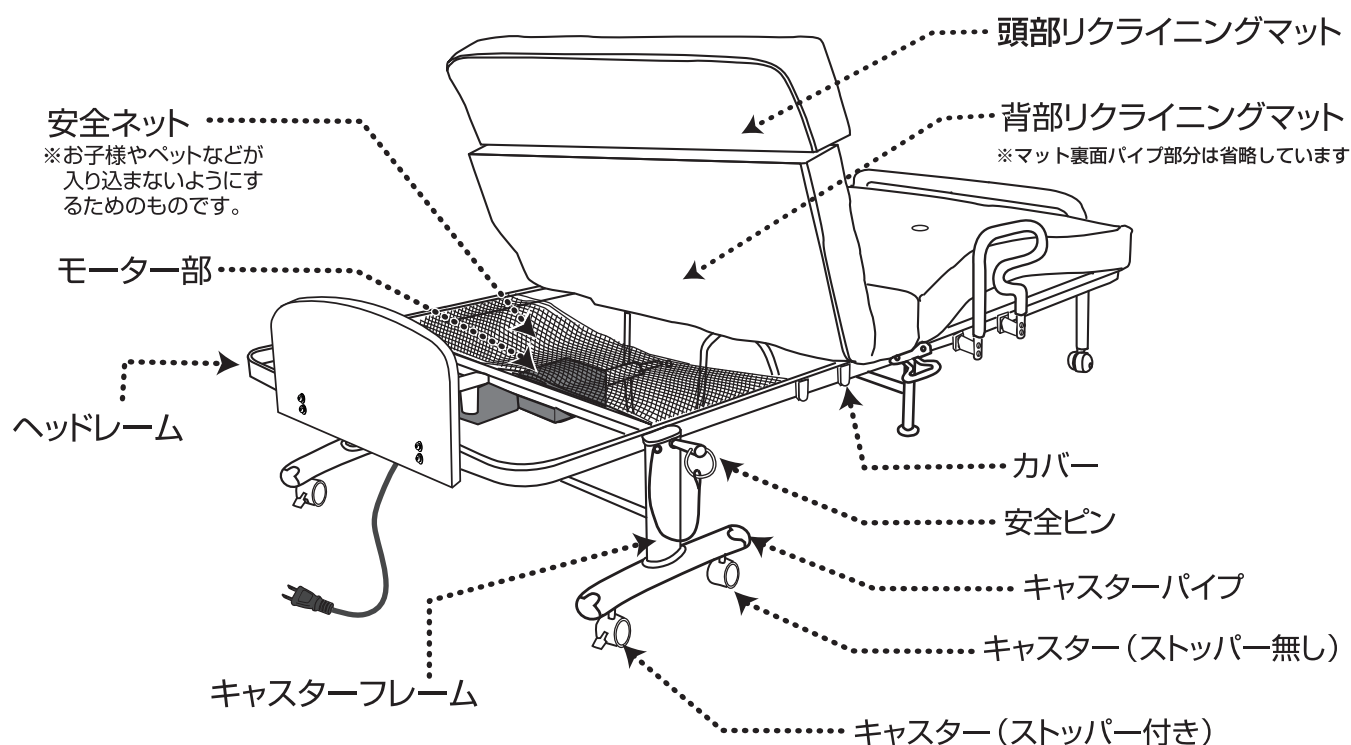
各部の名称と部品一覧表

●組み立てる前に完成図をよく見てあらかじめ把握しておいてください。

前面

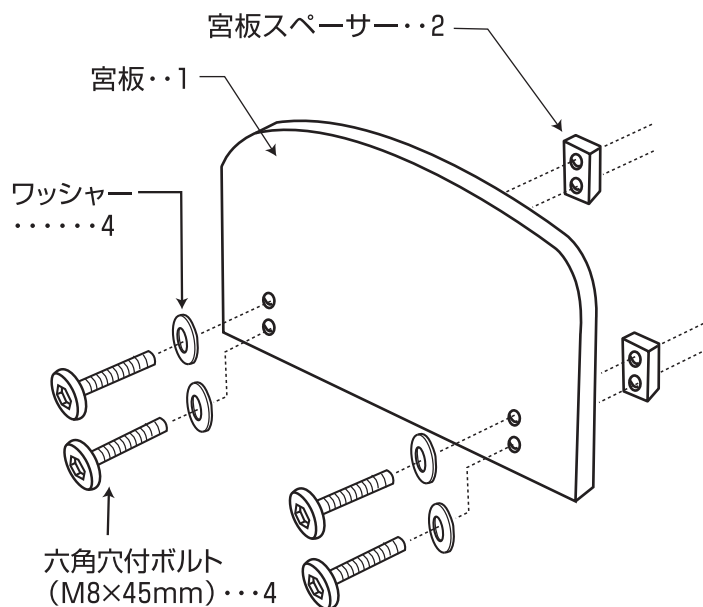


背面

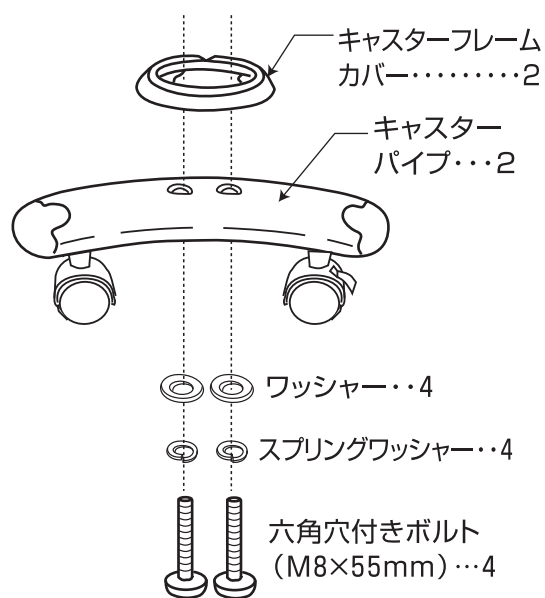


●組み立てる前に部品がすべて揃っているか、確認してください。

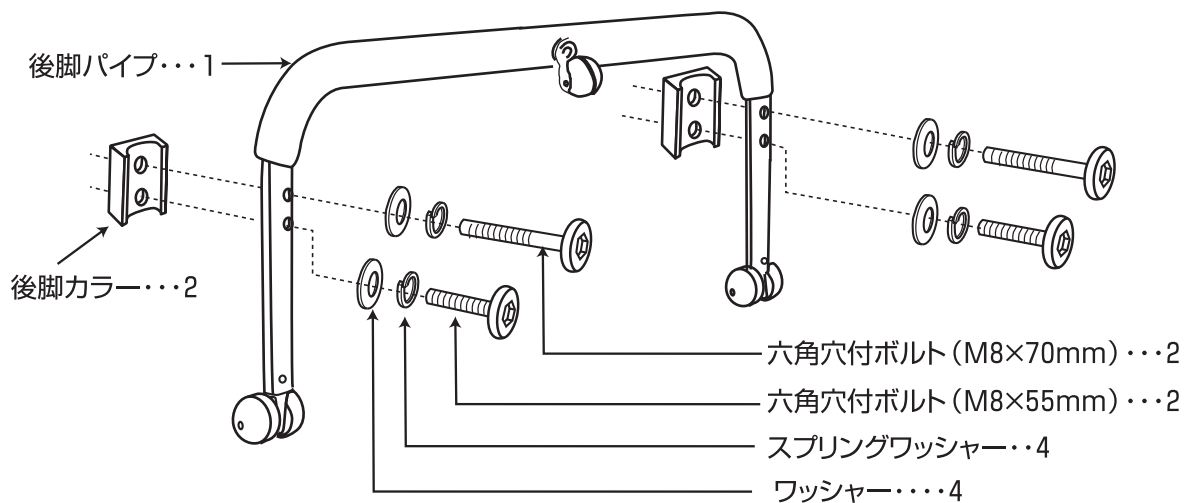
宮板の取り付け部品



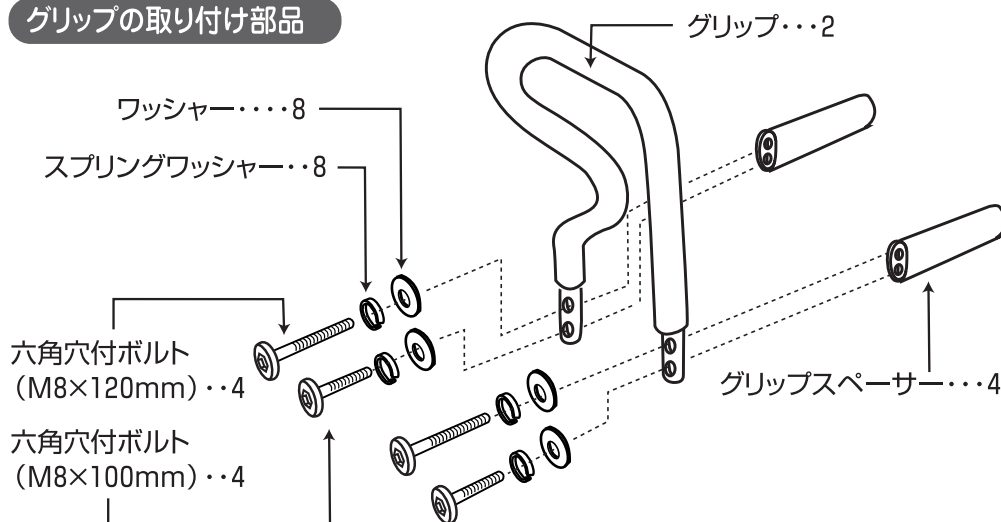
キャスターパイプの取り付け部品



後脚パイプの取り付け部品



グリップの取り付け部品



取付工具



六角レンチ...1

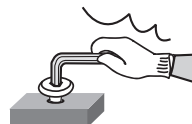


カバー...4

組立順序

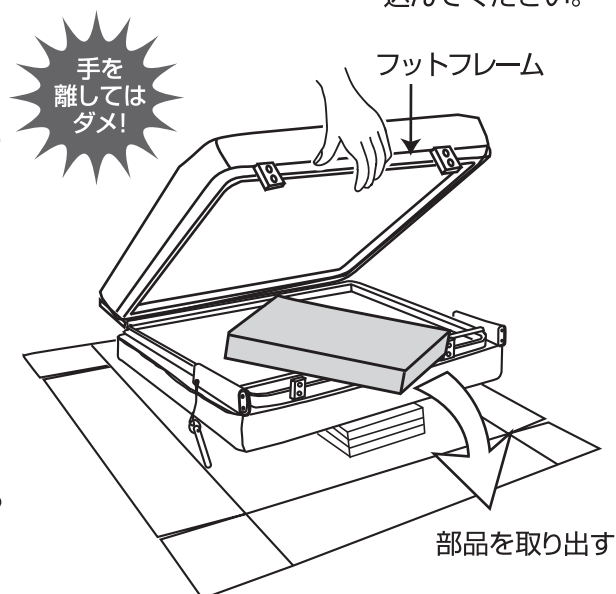
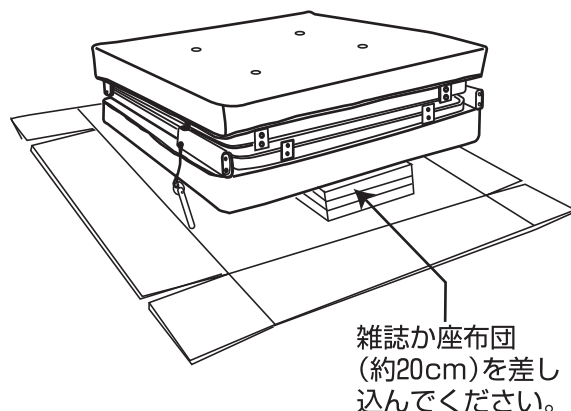
説明書をよく見てあらかじめ把握しておいてください。

⚠ 注意 組立時の注意

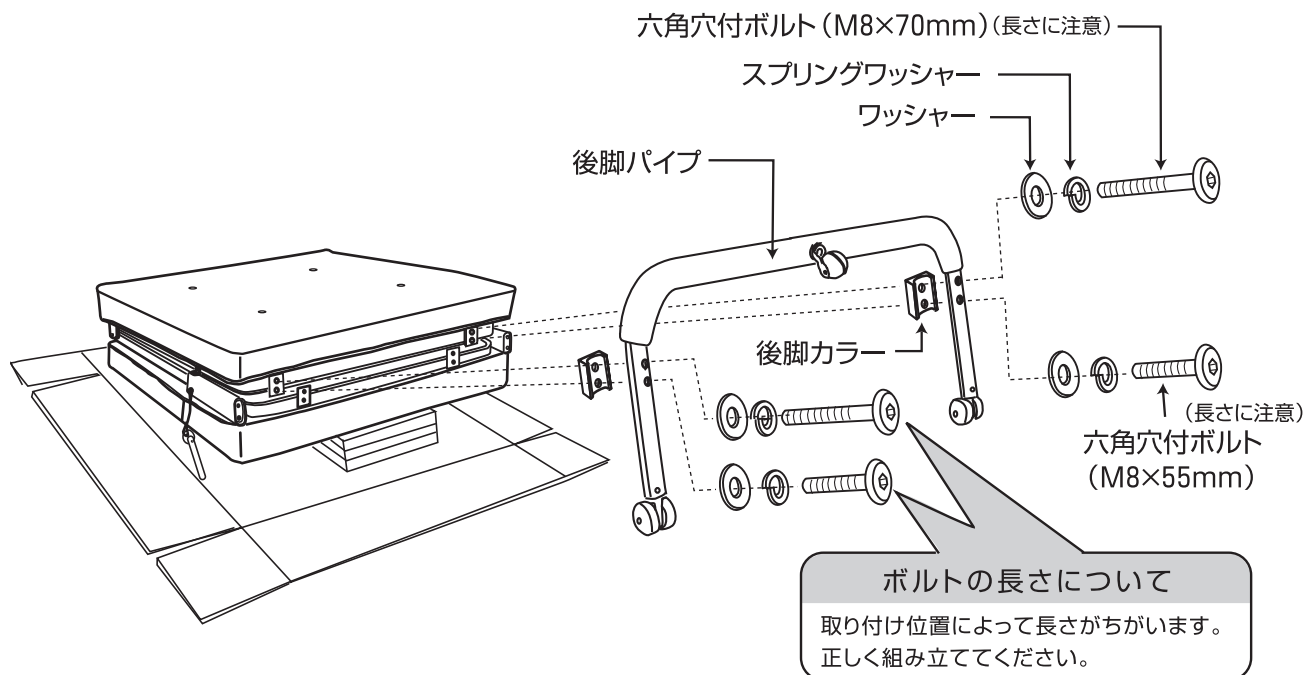
 必ず守る	組立は大人の方が説明書に従って組み立ててください。 	組立の際は、近くに幼い子供やペット等がいないか十分注意してください。 
	手をケガしないよう手袋をしてください。 	ネジ類は最初あまりきつく締めないで仮止めしておき、全て組み上がった後に、再度しっかりと締め直してください。(最初から締め付けてしまいますと、次のネジが合いにくくなります。) 
	組立作業は、フローリングや畳などを傷つけないように、ダンボールの上でおこなってください。 	組立の際は、手や指など挟まないように注意してください。 

組立の準備

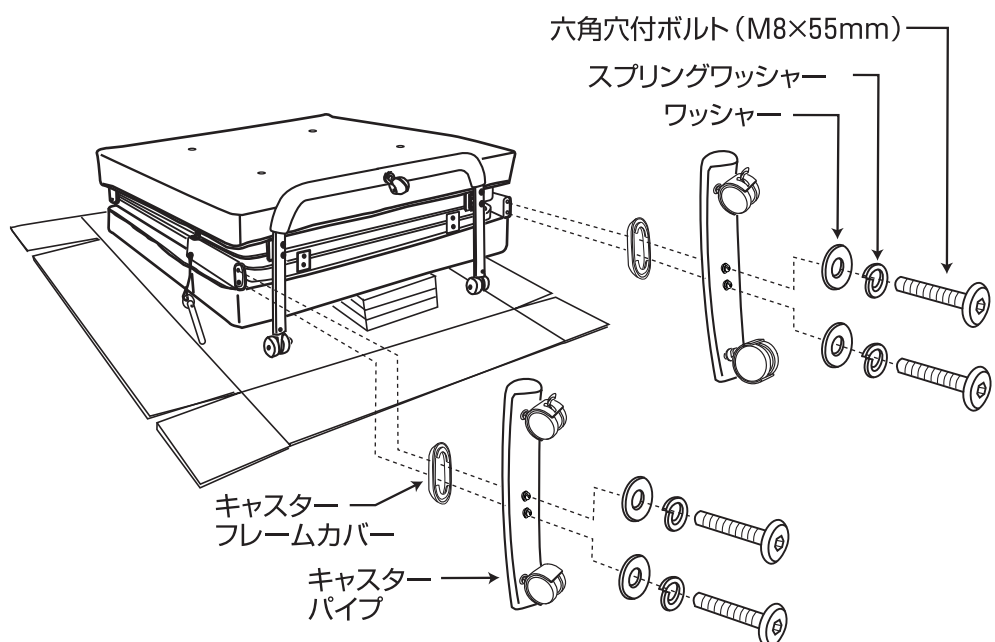
- 1 ケースの下箱を切り開いてください。組立は切り開いたダンボールケースの上でおこないます。
- 2 ベッドの下部(右図の位置)に雑誌か座布団(約20cm位)を差し込んでください。
- 3 フットフレームを持ち上げて、中から部品を取り出してください。
- 4 持ち上げたフットフレームをゆっくり降ろして…部品がすべて揃っているか、部品一覧表(5ページ)で確認してください。



5 後脚パイプの取り付け

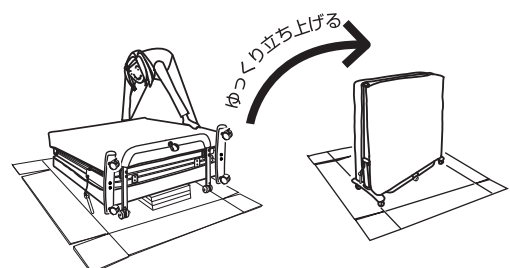


6 キャスターパイプの取り付け



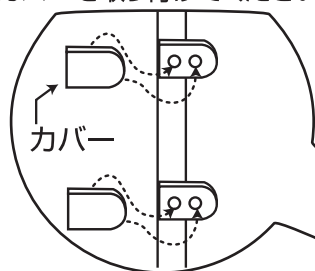
3

7 本体を立ち上げる前に、締めつけたボルトをしっかりと締め直してください。 本体をゆっくり立ち上げます。

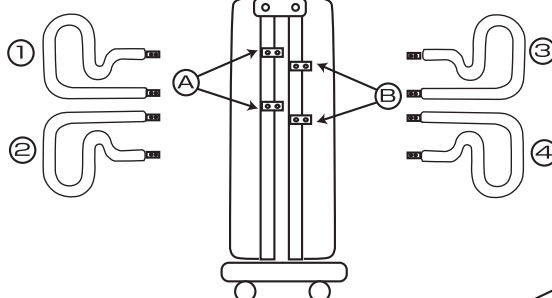


8 グリップの取り付け

グリップを取り付けない部分は、
カバーを取り付けてください。



取り付け位置は①又は②を選べます
グリップの向きは③～④選べます



※イラストは ② の位置に ④ の方向で取り付ける場合です

グリップの取り付け部穴について

パイプ表面が一部窪んでいる部分(穴の周辺)
が有りますが、これは加工の工程上、やむをえない
ことです。品質的には何ら問題有りません。
ご了承ください。

ボルトの長さについて
取り付け位置によって
長さがちがいます。
正しく組み立てて
ください。

六角穴付ボルト (M8×100mm)

六角穴付ボルト (M8×120mm)

グリップスペーサー

ワッシャー

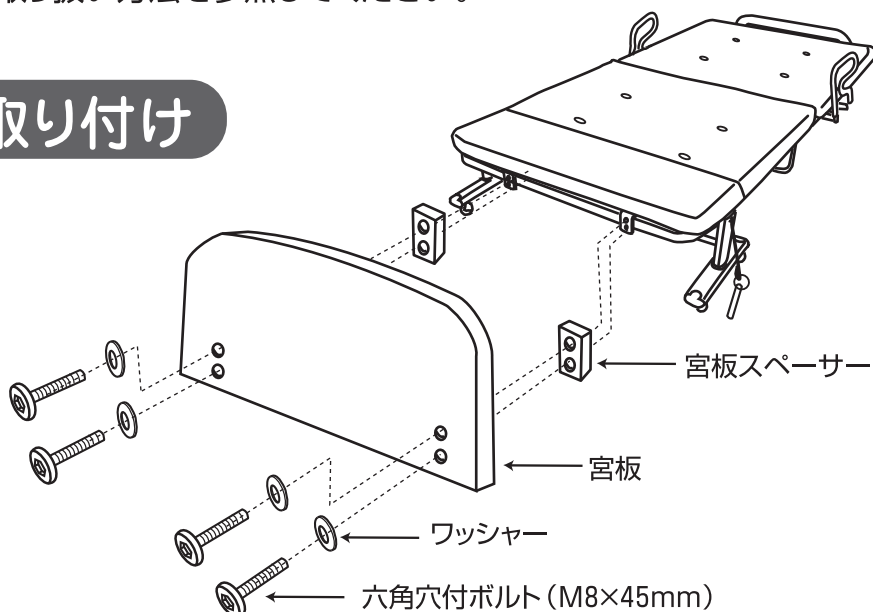
グリップ

スプリングワッシャー

9 本体を広げてください。

※広げ方は10ページの取り扱い方法を参照してください。

10 宮板の取り付け



宮板スペーサー

宮板

ワッシャー

六角穴付ボルト (M8×45mm)

組立はこれで完了です。最後にもう一度、各部のネジ類をしっかりと締め直してください。

安全ピンについてのお願い

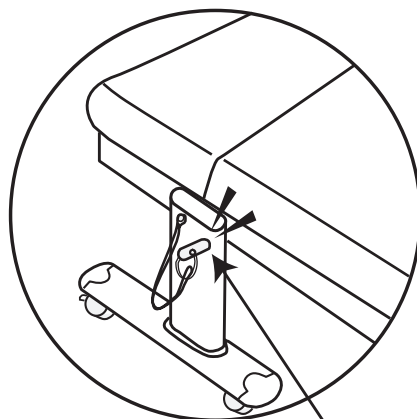
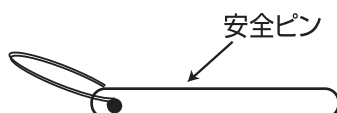


必ず守る

安全ピンは、[ベッド使用时]に必要なピンです。
必ず下記の通りに取り扱ってください。

ベッド使用时

安全ピンをキャスターフレームの
ストッパー穴に差し込んでください。



ストッパー穴に差し込む

⚠ 注意

安全ピンは特別な固定はしておりませんので、時々ストッパー穴に
差し込まれているかを確認してください。

折りたたむ時

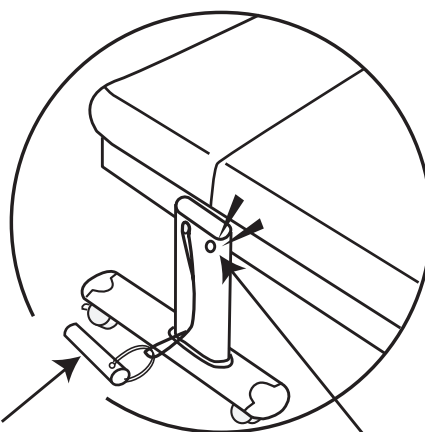
安全ピンを抜いてください。

⚠ 注意

折りたたむ前に、必ず安全ピン
を抜いてください。抜かずに
折りたたむと安全ピンが折れ
曲がります。



指づめ注意



安全ピンを抜く

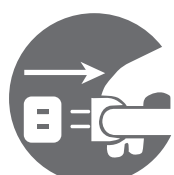
ストッパー穴

4

取扱方法

ベッドを広げるとき

- ① 電源プラグがコンセントから抜けているか確認してください。
- ② 足部マット側に少し足を開いて立ちます。
- ③ サポートグリップを握り、片方の手はフットフレームの出来るだけ下方を握り
- ④ 足部マットを持ち上げる感じで矢印の方向へ広げます。
- ⑤ 広げた後、安全ピンを差し込んでください。

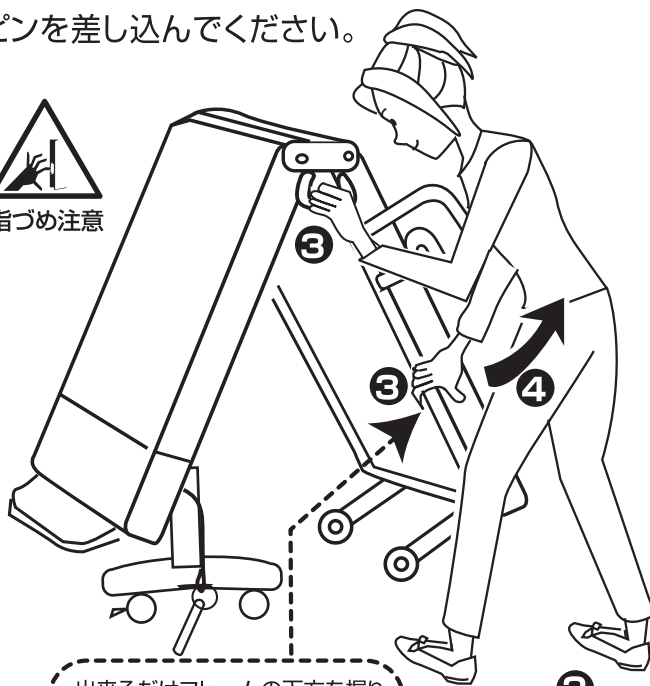


電源プラグを抜く

①



指づめ注意



出来るだけフレームの下方を握り
持ち上げるような感じで広げます

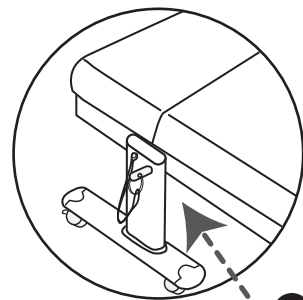
②

⚠ 注意

サポートグリップと下記イラストのフレーム以外のところは握らないでください。
指などを挟む恐れがあります。

⚠ 注意

指や手などを、はさまないように十分注意してください。
キャスターの通所には、動作の障害となる物を置かないでください。

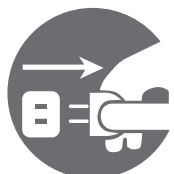


⑤

安全ピンを差し込む

ベッドを折りたたむとき

- ① 電源プラグが抜けているか確認してください。
- ② 安全ピンを抜いてください。
- ③ サポートグリップを握って持ち上げます。
ベッドが上がってくると、片方の手を添えて、
ベッドが移動しないようにして閉じます。

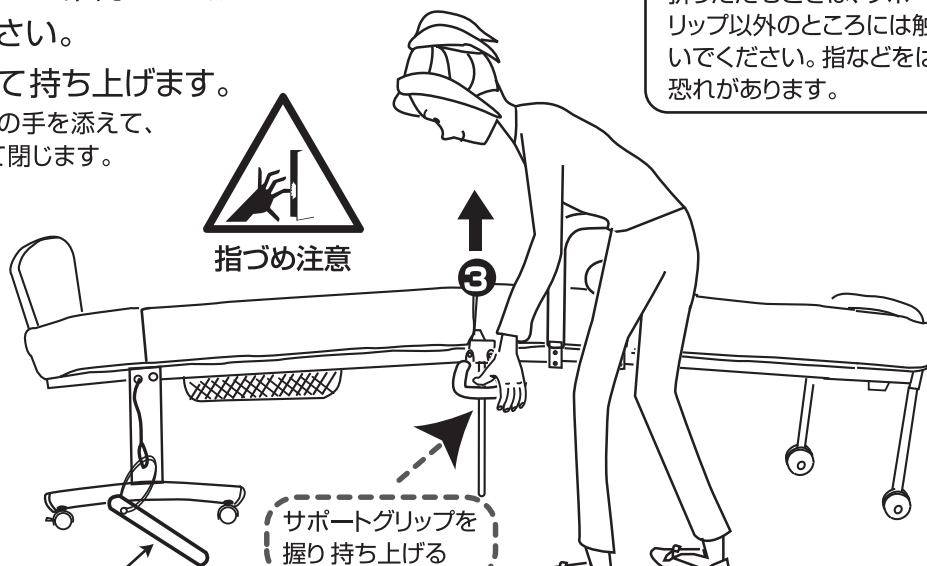


電源プラグを抜く

①



指づめ注意



② 安全ピンを抜く

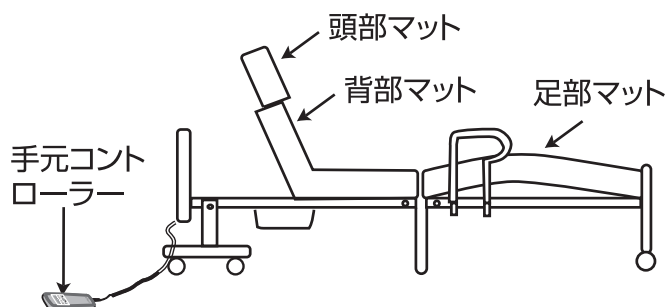
サポートグリップを
握り持ち上げる

⚠ 注意

折りたたむときは、サポートグリップ以外のところには触れないでください。指などをはさむ恐れがあります。

背部リクライニング方法

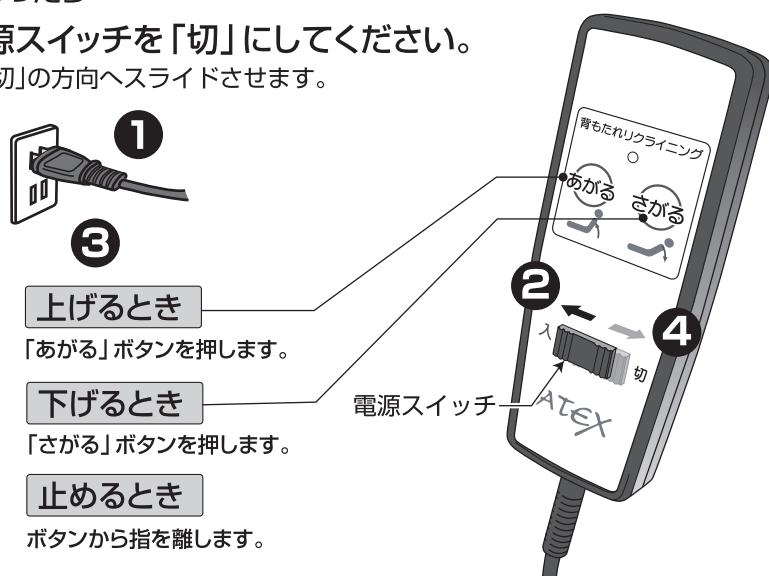
頭部・背部マットは手元コントローラーでリクライニングさせます。
このとき足部マットも連動してフットアップします。



- ① 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ② 電源スイッチを「入」にしてください。
※「入」の方向へスライドさせます。
- ③ リクライニング角度をお好みの位置に設定してください。

使い終わったら・・・

- ④ 電源スイッチを「切」にしてください。
※「切」の方向へスライドさせます。

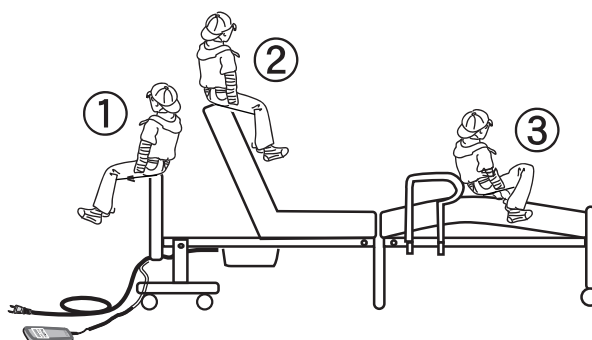


⚠ 警告

- ベッドのリクライニングは、必ず大人の方がおこなってください。又、周囲にお子様やペットなどいないことを確認しておこなってください。
- 身体がうつ伏せや横向きの状態で背もたれを上げないでください。事故やケガの恐れがあります。
- 背もたれリクライニング部分に腰を掛けたり、座ったりして作動させないでください。故障の原因や事故、ケガの恐れがあります。
- フットアップ部分に腰を掛けたり、座ったりして作動させないでください。故障の原因や事故、ケガの恐れがあります。
- リクライニング調節が終わったら、必ず電源スイッチを切ってください。また、長時間使用しない時やお出かけの際は誤作動や事故を防ぐため、プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

右図の①宮板の上に乗ったり座ったりしないでください。
また、リクライニングさせている状態で、②背部リクライニング部、③フットアップ部の上に乗ったり、座ったり絶対にしないでください。故障の原因や、思わぬ事故になる恐れがあります。



フットアップを解除する方法

- ❶ 足部マットの裏側にあるノブボルトを確認してください。
- ❷ ノブボルトをゆるめて、ワイヤーフックを外します。
- ❸ 足部マットを引き上げて、ワイヤーフックをフットフレームに固定させます。

⚠ 警告

この作業は必ず大人の方
2人以上で行ってください。
事故やケガの恐れがあり
ます。

ノブボルトはマットの裏を
のぞけば見えます。

❶

ノブボルト

❷

ワイヤーフック

足部マット裏側

❸

ボルト穴

赤シール

フット
フレーム

ワイヤー
フック

ノブボルト

⚠ 注意

ノブボルトは再度足部をフットアップする
際、必要な部品ですので紛失しないよう
に必ずボルト穴部（赤印部）に締め込み
固定してください。

⚠ 警告

この作業は必ず大人の方
2人以上で行ってください。
事故やケガの恐れがあり
ます。

移動・ストッパー付キャスター・お手入れ方法

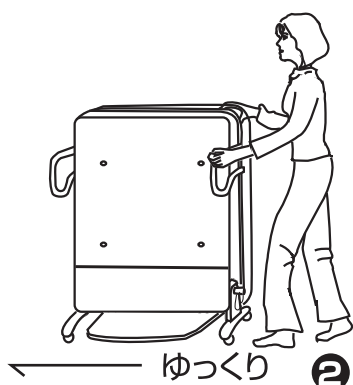
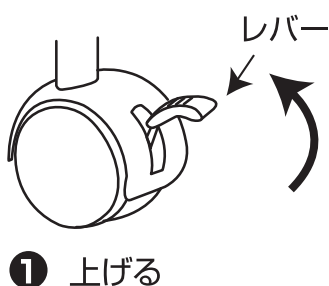
ベッドの移動方法



電源プラグを抜く

電源コードが抜けているか確認してから

- ① ストッパー付キャスターのレバーを上げます。
- ② 両手でベッドをしっかり支えながらキャスターの動きにあわせてゆっくり移動させてください。

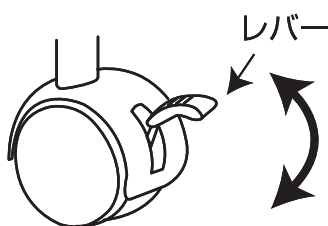


⚠ 注意

- 移動は必ず大人の方がおこなってください。
- キャスターの動きにあわせて、ゆっくりと移動させてください。床にキズをつける恐れがあります。
- 重量がありますので、周りに十分ご注意ください。
- 床材の種類によってはキズつくことがあります。

ストッパー付キャスター

レバーを下げると、キャスターが固定されます。
(ストッパー機能が働きます)



⚠ 注意

ベッド使用時、収納時にはキャスターを固定させておいてください。

お手入れ方法

本体マット部、パイプ・プラスチック部

- ① 中性洗剤を含ませた布をよく絞ってふいてください。
- ② 自然乾燥をさせてください。

宮板部

- 乾いた布で乾拭きしてください。



禁止



シンナーやベンジンは使用しないでください。

保管と点検・故障かな？・仕様

保管と点検

- ご使用後1ヶ月程度でキャスターのネジ、各部組立ネジのゆるみを点検してしっかり締め直してください。
その後は定期的（3ヶ月毎）に点検してください。
- 保管の場合は、直射日光が長時間あたる所、ストーブの近く、多湿の所はさけてください。



故障かな？

■ 手元コントローラーを押しても全く動かない場合は、下記の事項をチェックしてみてください。

症 状	チ ェ ッ ク	処 置
手元コントローラーを押しても全く動かない	電源コードの電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？	電源コードの電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	コンセントに電気がきていますか？	コンセントに他の器具を接続して電気がきているか確認してください。
	手元コントローラーの電源スイッチが「切」の位置になっていませんか？	手元コントローラーの電源スイッチを「入」の位置に移動させてください。
	長時間（2分）以上連続操作していませんか？	操作を中止し、20～30分後に再び操作してください。

仕 様

商 品 番 号	AX-B634EW
商 品 名	収納式電動リクライニングベッド（Wファンクション）
定 格 電 圧	AC100V（50/60HZ）
定 格 消 費 電 力	55W
本 体 サ イ ズ	（約）幅1035×長さ2035×高さ670mm
収 納 時 サ イ ズ	（約）幅1035×長さ755×高さ1050mm
重 量	（約）39kg
本 体	鋼（ウレタン樹脂塗装）、MDF（プリント紙化粧）、PP、PE、PU
マット内部構造	鋼、EPS（発砲ポリスチレン）、ウレタンフォーム、ポリエステル綿（抗菌・防臭・防ダニ加工）
マット表面生地	上面：ポリエステル100%（ダブルメッシュ） 側面：ポリエステル80%・綿20%
安全使用荷重	90kg以下
生 産 国	中国



〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺3丁目3番24号 TEL06(6799)8100(代)

<http://www.atex-net.co.jp/>